

インクルーシブ教育システムを推進するための
地域や学校等の主体的な取組を支援します

「インクルCOMPASS」ガイド

研修を企画する際の
参考資料に！

教育現場の強みや
課題が把握できる！

地域の
教育施策を考える際の
検討資料として

インクルーシブ教育
システムの構築状況を
可視化できる

学校の
強みを活かして
地域と交流を！

校内連携を進める
ためのツールに！

障害のある子どもを
みんなで支えるために

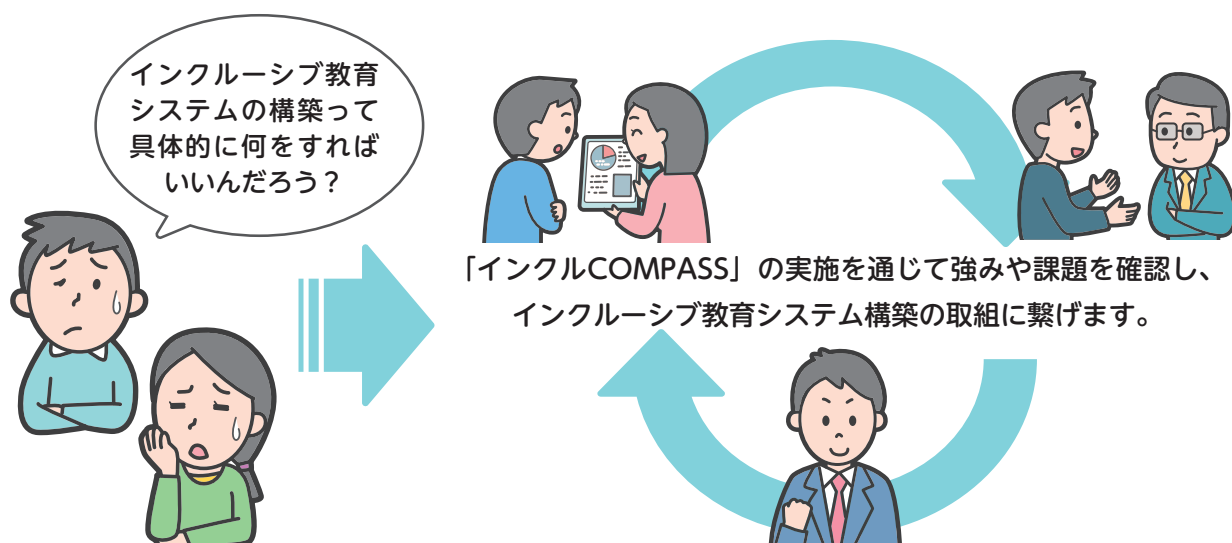


インクルーシブ教育システムを推進するために

インクルーシブ教育システム（inclusive education system）では、基本的な方向性として障害のある子どもと障害のない子どもが、できるだけ同じ場で共に学ぶことを目指しています。

インクルーシブ教育システムを推進するためには、園や学校、教育委員会での取組状況を把握し、今後の見通しをもつための観点が必要になってきます。しかし、それぞれの機関で行われている取組がインクルーシブ教育システムとどのように関連付いているのかがわかりにくいという声もあります。

そこで、国立特別支援教育総合研究所では、園や学校、教育委員会がインクルーシブ教育システム構築の現状や課題を自分たちで把握し、次の取組につなげるための手掛かりを得ることを目指したツール「インクル COMPASS」を作成しました。



「インクル COMPASS」ってなに？

「インクル COMPASS」は、インクルーシブ教育システムを推進し、主体的取組を支援するためのツールです。COMPASS は、英語表記である「Components for Promoting Inclusive Education System and Assisting Proactive Practices」から取っています。

「インクル COMPASS」では、観点ごとに分かれている各項目について、それぞれの機関における取組状況を自分たちでチェックし、その結果を総合的に判断して今後の取組の方向性を検討します。

園や学校、教育委員会の役割はそれぞれ異なることから、各機関の役割を踏まえて、以下に示す5つのバージョンの「インクル COMPASS」を作成しています。

○ 「インクル COMPASS」の5つのバージョン

主に園や学校で活用できるバージョン
(園・学校用「インクル COMPASS」)

- (1) 幼稚園・認定こども園・保育所用
- (2) 小・中学校、高等学校用
- (3) 特別支援学校用

主に教育委員会で活用できるバージョン
(教育委員会用「インクル COMPASS」)

- (4) 都道府県教育委員会用
- (5) 指定都市・市町村教育委員会用

「インクル COMPASS」 についてもう少し詳しく

「インクル COMPASS」では、5つのバージョンに共通するコンセプトを以下のように掲げています。

○ 「インクル COMPASS」 共通コンセプト

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、それぞれが実施している取組の現状を把握し、課題や今後の方向性を導き出すことのできるもの。

園・学校用、教育委員会用それぞれのバージョンの「インクル COMPASS」では、各機関の役割に即して、個別のコンセプトを掲げています。また、網羅的に自分たちの取組を振り返ることができるように、観点ごとに細かくチェック項目を分けています。

それぞれの「インクル COMPASS」のコンセプトと、観点及びチェック項目の例を以下に示します。

○ 園・学校用「インクル COMPASS」のコンセプト

自校（自園）のインクルーシブ教育システムの構築を一層推進するために、現在の取組状況を把握し、その結果を踏まえて今後、取り組むべきことを検討する際のヒントが得られるものとする。
また、現状を振りかえることで、自校（自園）の強みや課題を確認することができるものとする。

観 点

チェック項目例

1. 体制整備

- ・ 園・校内の支援に係る体制整備
- ・ 周囲の幼児児童生徒及び保護者の理解推進 など

2. 施設・設備

- ・ バリアフリー施設・設備の整備
- ・ 教育支援機器の整備 など

3. 教育課程

- ・ 特別の教育課程の編成
- ・ 特別の教育課程の実施

4. 指導体制

- ・ 指導体制の整備・充実
- ・ 地域の関係機関の連携 など

5. 交流及び共同学習

- ・ 交流及び共同学習の実施のための具体的な取組
- ・ 障害のある人との交流と理解・啓発

6. 移行支援

- ・ 就学支援システムづくり
- ・ 就労支援システムづくり

7. 研修

- ・ 園・校内における専門性の向上のための取組
- ・ 校外研修を活用した理解・専門性の向上 など

図1 園・学校用「インクル COMPASS」の観点とチェック項目の例

○ 教育委員会用「インクル COMPASS」のコンセプト

インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進のために、教育委員会が果たすべき役割や機能を把握することで、域内のインクルーシブ教育システムの構築・推進に関わる基本的な計画の策定や体制整備・充実のための検討資料として使用する。

観 点

1. 状況把握

2. 関係課(部局)、関係諸機関との連携

3. 教育相談体制

4. 交流及び共同学習

5. 移行支援

6. 研修

チェック項目例

- ・ 高等学校の状況の把握
- ・ 園や小・中学校の特別支援教育の状況の把握
- ・ 教育委員会内での関係課(部局)との連携
- ・ 関係諸機関との連携
- ・ 教育相談体制の整備
- ・ 特別支援学校のセンター的機能の活用
- ・ 地域全体で取り組むための連携・調整
- ・ 地域への理解・啓発のための情報発信 など
- ・ 就学相談・支援
- ・ 「学びの場」の柔軟な見直し など
- ・ すべての指導主事の理解・専門性の向上
- ・ 市町村の教育相談担当者の専門性の向上 など

図2 都道府県教育委員会用「インクル COMPASS」の観点とチェック項目の例

○ 「インクル COMPASS」の構成

「インクル COMPASS」は、インクルーシブ教育システムを構築するための観点ごとにチェックを行うシートと、それらのチェック結果をまとめて、インクルーシブ教育システムの構築状況の全体像を俯瞰するためのナビゲーションシートで構成されています。

「インクル COMPASS」



チェックを行うシート



ナビゲーションシート

「インクル COMPASS」はどこから入手できるの？

「インクル COMPASS」のデータは、以下の URL や QR コード、Web 検索からページにアクセスしていただければ、無料でダウンロードできます。是非、ご活用ください。

- 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システムチーム
https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability_list/inclusive

インクル COMPASS



「インクル COMPASS」はどんな場面で使えるの？

「インクル COMPASS」は、インクルーシブ教育システム構築の取組状況のチェックだけではなく、次のような活用も可能です。

○ 園や学校における支援体制構築のために

組織的にインクルーシブ教育システム構築・推進に取り組むためには、目指すべき方向性を明確にすることが必要です。園や学校には、特別支援教育に関わる関係委員会や分掌が設置されています。こうした既存の組織を活用しながら、園・校内におけるインクルーシブ教育システム構築・推進のための支援体制を構築し、具体的な取組の方針を検討する際の資料として「インクル COMPASS」が活用できます。

○ 研修会の企画の参考や研修用教材として

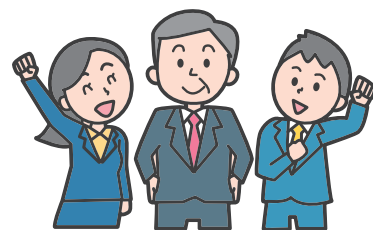
全教職員のインクルーシブ教育システムに対する理解を促していくためには、園や校内の研修でどのような内容を取り上げるべきかを検討することが大切です。ポイントを押さえた研修内容を企画するうえで、「インクル COMPASS」は有効な手がかりになります。

「インクル COMPASS」で明らかになった園や学校の課題と強みを踏まえて、改善すべきことや発展させていきたいことを園・校内研修会で取り上げることで、教職員一人ひとりがインクルーシブ教育システム構築・推進において、どのような役割を担っていくべきなのかを具体的にイメージすることができます。



○ 校内での共通理解を図るためのツールとして

例えば、特別支援学校には複数の学部が設置されており、学校によっては部門制であったり、学部の校舎が分かれていたりします。学校組織が大規模であるほど校内連携の難しさが生じることがあります。また、自分の担当以外の業務や分掌については、意識が向きにくいかもしれません。各学部や各部門の特色を考慮しながら、組織としてのインクルーシブ教育システム構築・推進のための取組を共通理解するためのツールとして「インクル COMPASS」を活用できるのではないかと考えます。



○ インクルーシブ教育システムの推進に関する施策を検討するために

教育委員会において、地域のインクルーシブ教育システム構築・推進にむけた施策を検討するためには、教育委員会内の取組状況を把握することや、地域にある学校でインクルーシブ教育システムの構築に関する取組がどの程度実施されているのかといった情報を集める必要があります。その際、教育委員会用「インクル COMPASS」を使って教育委員会での取組状況を振り返ったり、園・学校用「インクル COMPASS」を活用して地域の園や学校で広く取組を検証し、その結果を収集・分析したりすることで、地域全体でのインクルーシブ教育システム推進にむけて実施状況を俯瞰することができると考えられます。

「インクル COMPASS」はどうやって使うの？

インクルーシブ教育システムのさらなる充実を目指して、次のように「インクル COMPASS」を活用することができます。ここでは、園・学校用の「インクル COMPASS」の書式を例示しています。

STEP 1 園や学校、教育委員会の実情をチェックして取組状況を把握する

園や学校であれば管理職や学年主任、特別支援教育コーディネーターなど、教育委員会であれば他の他部署の担当者などの複数名でチェックし、それぞれの機関におけるインクルーシブ教育システムの取組状況を把握しましょう。観点や項目ごとに担当を分担したり、相談したりして作成することで、園や学校全体で取り組んだり、関係者同士で情報を共有したりしながら取り組むことができます。

実施時期については、年度末に実施して取組を振り返ったり、次年度の年間計画を検討したりするなどの活用が考えられます。

5-2 障害のある人との交流と理解啓発	取組がなされていると思う項目にチェックします。 判断に迷う場合もあると思いますが、絶対的な基準はありませんので、それぞれの実情に応じて多様な視点からチェックを付けてみてください。
☒ (1) 障害のある者となない者が相互に理解し合うための「心のバリアフリー」 [※] 学習を実施している。 ☐ (2) 障害のある大人や地域における高齢者等、同世代以外の人と世代を超えた交流を行っている。 ☒ (3) 障害のある子どものスポーツ大会や作品展示会等のイベントに参加している。 ☒ (4) 日常の学校生活において、障害者理解に関わる指導を行っている。	
上記以外の取組	上で示された項目以外に取り組んでいることがあれば記載してください。
学校全体の取組ではないが、福祉ととの間で、互いの学校の文化祭に	各項目の取組状況を踏まえて、総合的にご判断ください。それぞれの実情に応じてご判断いただくよう、チェックが付いた項目の数や種類に基づく明確な基準は設定していません。このチェック結果を、ナビゲーションシートに転記していただきます。
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 ☒ できている ☐ どちらとも言えない ☐ できていない ▶ (* ☐ 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	
上段で「重点的に取り組む必要がある」にチェックを入れた場合に記入していただき、振り返りの際にご活用ください。	

STEP 2 「ナビゲーションシート」で園や学校の強みや課題を可視化したり、教育委員会で果たすべき役割や機能を確認したりして重点的取組の方策を検討する

「ナビゲーションシート」を使って、全体の取組状況を俯瞰し、強みや課題を可視化したり、役割や機能などを確認したりした上で、重点的取組の方策案を検討します。重点的取組は、園や学校、教育委員会の実情に応じて総合的に判断します。「できている」にチェックが付いた強みを活かしたり、「できていない」にチェックが付いた課題について検討を行います。

教育委員会用「インクル COMPASS」では、「どちらとも言えない」の代わりに「現在取り組んでいる」の欄を設けていますので、施策の実施状況を反映させてチェックすることができます。また、重点的取組の方策案では、長期的取組と短期的取組を区別できる欄を設けていますので、取り組む期間（年）を記入してご活用ください。

I. インクルーシブ教育システムの構築状況

	できている	どちらとも言えない	できていない	重点的に取り組む必要がある
観点1 体制整備				
(1-1) 校内の支援に係る体制整備	○			○
(1-2) 周囲の児童生徒及び保護者の理解推進		○		
(1-3) 地域への理解・啓発		○		
(1-4) 管理職のリーダーシップに基づく学校経営	○			○
観点2 環境整備				
(2-1) 校舎・校庭の整備			○	
(2-2) 教育支援機器の整備	○			
(2-3) 教育支援機器の整備	○			
(2-4) 教室配置及び既存の教室の活用	○			
観点3 教育課程				
(3-1) 特別の教育課程の編成	○			
(3-2) 特別の教育課程の実施・評価	○			

左ページにある「『取組状況』と『上記以外の取組』をあわせた上での判断」を見ながら○を付けてください。

II. インクルーシブ教育システム構築の推進に向けた重点的取組の方策案

優先順位	観点番号	方策案の概要（できるだけ具体的に記載してください）
1	1-1	校内研修を実施し、職員が、自校の特別支援教育の校内体制について「インクルーシブ教育システム」の視点からその価値を認識できるようにする。
2	2-2	個別の教育支援計画の作成と合意形成した上で記入する書式に並び、その際の手続きを明確にすることで、保護者の理解もいただけるようにする。
3	5-1	個別の指導計画の書式の見直しを行い、各教科の目標と目標達成のための支援を見やすくする。

インクルーシブ教育システムのさらなる推進に向けて重点的に取り組むべき方策を記入してください。

STEP 3 「インクル COMPASS」の結果を共有し、取組につなげる

「インクル COMPASS」の実施結果を学校全体で共有したり、教育委員会内のチーム等で検討するなどして具体的な取組につなげていきましょう。すぐに取り組める内容や長期的に取り組むべき課題があると思います。実情に応じて無理のない計画を立てましょう。

最後に「インクル COMPASS」を活用して実施した取組を振り返ることで、次の取組や今後の計画に活かしていきましょう。





○関連情報リンク集

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 <https://www.nise.go.jp/nc>

・インクルーシブ教育システムチーム

https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability_list/inclusive

・インクルーシブ教育システム推進センター

http://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center

・インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）

<http://inclusive.nise.go.jp/>

文部科学省による実施事業の情報（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/006.htm

インクルーシブ教育システム構築支援学校施設データベース（国立教育政策研究所）

https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/shisetsuDB/index.html

「インクル COMPASS」は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所で実施した基幹研究（横断的研究）「我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究」（平成28年度～令和2年度）において作成したものです。

「インクル COMPASS」の作成にご協力をいただきました都道府県教育委員会、指定都市教育委員会、市町村教育委員会、園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、研究協力者、研究協力機関の皆様方に心より感謝申し上げます。



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比 5-1-1
TEL: 046-839-6803 FAX: 046-839-6918
(令和3年2月発行)